

ひと・まち・モビリティ

# LIGARE

07  
JULY  
2015  
VOL  
23



DeNA オートモーティブ事業へ参入  
ZMPと提携しサービス開発へ

自動運転技術の現在と未来 金沢大学×IPC  
自動運転がもたらす付加価値 – LIGAREセミナー

「リガーレ」  
**23**  
VOL. ¥1,800<sup>+</sup>TAX

Special

4

## DeNA

オートモーティブ事業へ参入

34

## LIGARE ビジネスセミナー

自動運転がもたらす新たな付加価値

56

## 金沢大学 ×iPC

自動運転技術の現在と未来

Business Report

14

### ナビロー

カーナビと同等のナビゲーションをスマートフォンで

16

### Gogoro in Taiwan

EV バイクシェアをスタート

22

### KDDI 総合研究所

Web とクルマのアイデアソン

30

### Wonder Japan Solution

2020 年に向けた Panasonic の挑戦

48

### クルマでゴー 鄕商事

自動車の自己診断機能を利用したクラウド型車両動態管理用端末

50

### アルコール検知器の基準統一

「アルコール検知器協議会」発足

52

### カーシェアリングをインフラの一つにするために

「次世代都市交通に資する空間マネジメント」シンポジウム

62

### グローバルモビリティニュース

### ニュースファイル

71

# LIGARE

ひと・まち・モビリティ

リガーレ vol.23 2015

※本誌掲載の記事および写真、イラスト等の無断転写、複製、放送を禁じます。

発行 株式会社 自動車新聞社  
神戸(本社) 兵庫県神戸市中央区御幸通8-1-6  
神戸国際会館22階

記事内容・広告掲載に関するお問い合わせ  
神戸 TEL:078-891-7207 FAX:078-891-7205  
編集部 info@j-np.com

プレスリリース受付  
press@j-np.com

皆様の声にお応えするためにも  
パートナーとしてDeNAと提携を決めた

# DeNA

オートモーティブ事業へ参入

✓ 自動運転技術

✓ インターネットでオークションやショッピングサイト、モバイル向けのポータルサイトなどを運営するDeNAは、新たにオートモーティブ事業に参入することを発表しました。自動運転の技術開発などを行うZMPと協同してロボットタクシー株式会社を新たに設立し、自動運転タクシーの実現に向けて取り組んでいきます。DeNAオートモーティブ事業発表会での内容を中心に紹介します。

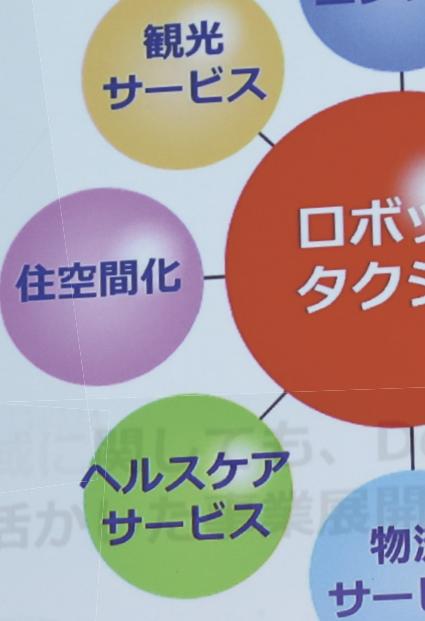
完全自動運転によって、  
近い将来「クルマ」の概念が変わる

レンタカー  
自家用車  
タクシー

自動運転技術の競争  
ユーザ体験領域の競争

概念の  
融合

新会社の  
見据える未来



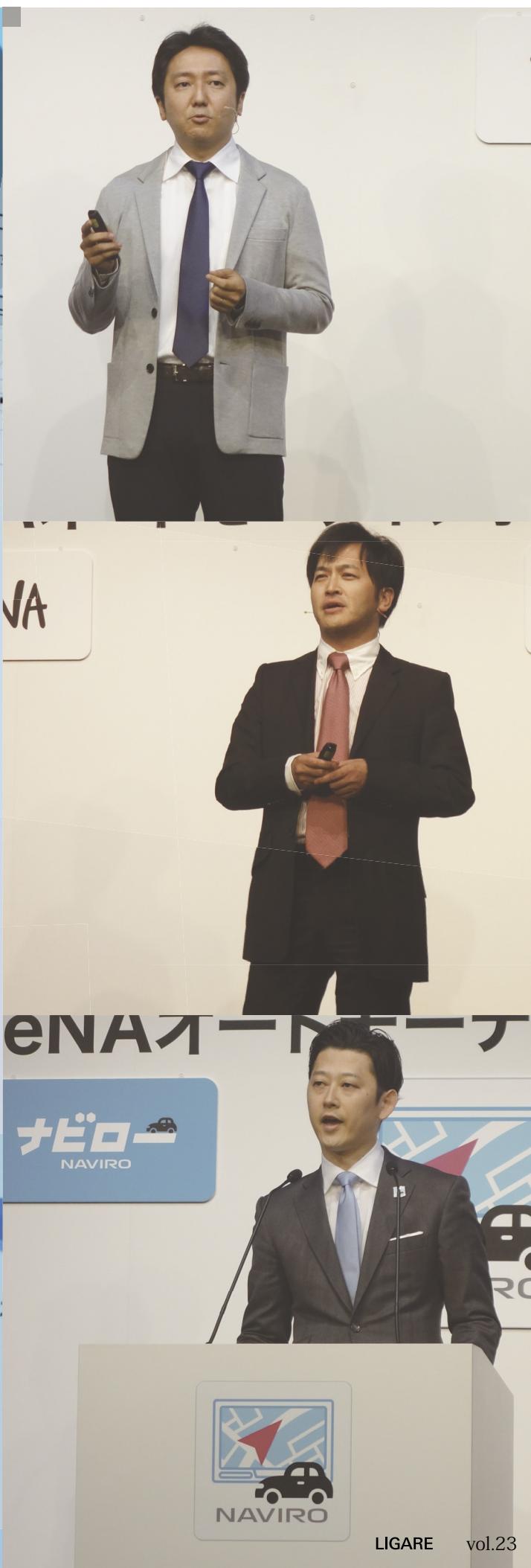
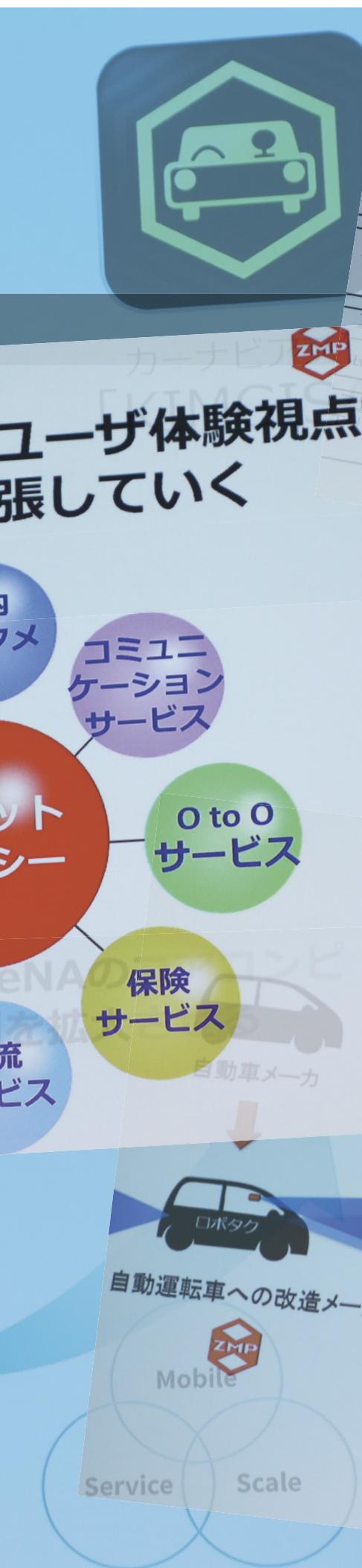
X

Service

協業

M&A

多様な戦略オプションから  
最良の選択で事業立ち上げ





写真上:左から

DeNAロケーションズ 代表取締役社長 津島 越朗 氏、  
DeNA 執行役員 中島 宏 氏、ZMP 代表取締役社長 谷口 恒氏

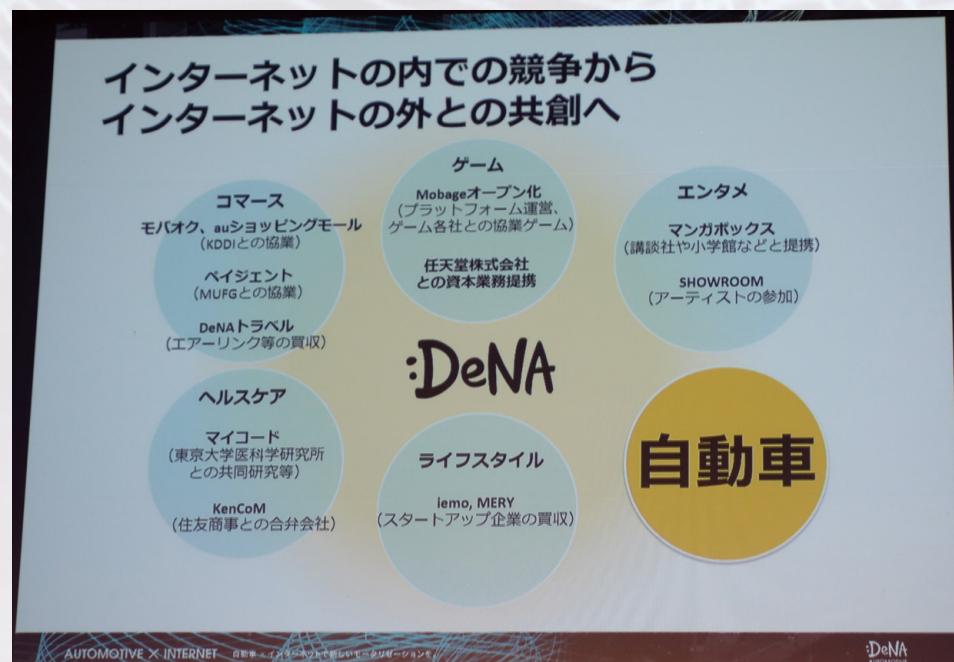
## 参入の経緯

DeNAは創業当時から事業領域にこだわらず、様々な産業に参入していく成功を模索しています。新たな産業へ参入する都度、アライアンスや投資の面で他社との協業を行っていくことが他のインターネット関連企業と比較してDeNAの特徴であり、今回も、ロボットカーの研究・開発を行っているZMPと協業し、ロボットタクシー株式会社という新会社を設立することで、協同してオートモーティブ事業への参入を開始しています。

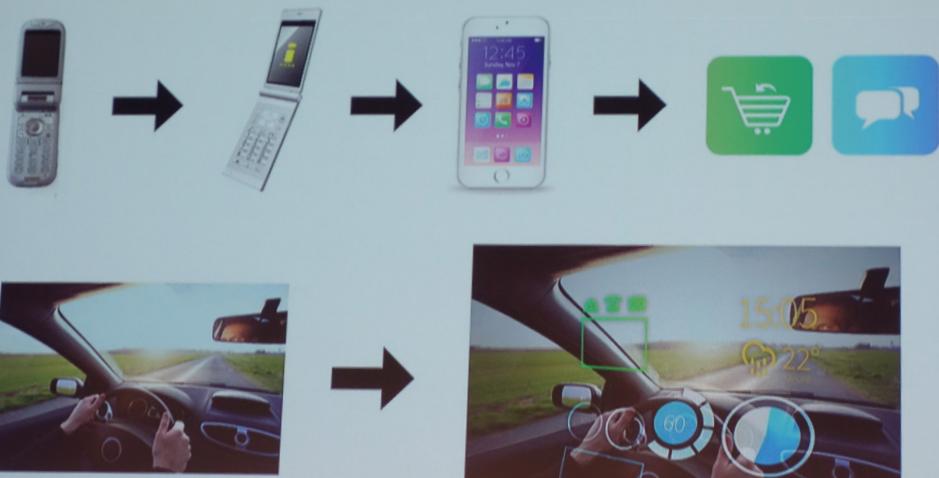
## なぜ自動車産業なのか

創業のコマース事業からゲーム事業、最近ではエンタメやヘルスケアなど様々に事業を展開してきたDeNA。ではなぜ今自動車産業への参入を決定したのでしょうか。その理由としてまず挙げられるのが、マーケットの大きさです。DeNA執行役員の中島宏氏は「なぜ自動車産業なのか」という質問を非常に多く受けますが、第一点として、非常に大きい規模を誇る産業だということです。完成車の販売領域、中古車・新車合わせて11兆円という領域です。それに加えてタクシーだけでも1.7兆円、

写真下:コマース事業などを展開してきたDeNAが今回新たに自動車産業へ参入する



## 付加価値の源泉はハードウェアからソフトウェアへと移行している



写真上：付加価値の源泉の移動

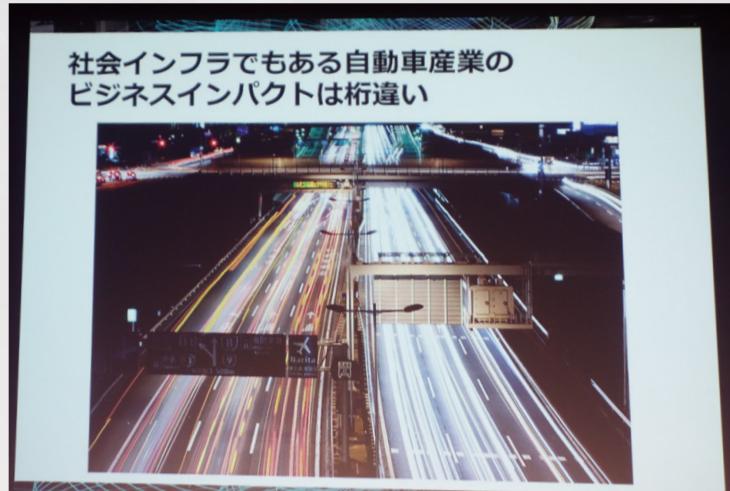
それ以外に整備産業だけ見ても 5.4 兆円、その周辺にはガソリンスタンドなどエネルギー領域、損害保険の領域などを含めてトータルで考えると、50 兆円以上はあるといわれ、日本でも最も大きい産業のうちの一つです。インターネット企業である DeNA にとっては非常に魅力的です。例えばインターネットの会社が新規事業を構えるときにはマザーマーケットが 5000 億円ぐらいといわれるところに 10% インターネットを貸した場合、マザーマーケットが 500 億円ぐらいになります。そのうちのリーディングカンパニーが 20% シェアをとったとして大体 100 億円ぐらいの売り上げになります。充分大きいといわれるところですけれども、それより 2 衍ぐらい大きいマーケットであると理解しています」と第一点目の理由を述べています。

インターネットにつながり i モードができる手前ぐらいだと考えています。自動車がコネクテッドカーという形で色々なことができると言われています。車がインターネットに繋がったところで何ができるのかと言う人もいますが、DeNA はそう見ていません。ケータイがインターネットに繋がったことで、すごい構造変化が 15 年ほどで起こってしまうことを想像できた人がどれだけいたのかというところをみると、コネクテッドカーになって何が変わるのがという声は無視すべき、もっと先を見たい、大きな変化が起こる、という観点で事業展開していきたいと考えております」と述べています。

写真下：社会インフラである自動車産業のビジネスインパクトは桁違い

### 自動車産業の変革の時代

DeNA が自動車産業に注目した理由の二点目として、自動車という大きな産業が変革のときに来ていることが挙げられます。現在ゲームや小売の産業では構造自体の転換が起こっています。つまりハードウェアからソフトウェアへ付加価値の源泉が移動しているということです。自動車業界でもハードウェアからソフトウェアへ付加価値が移行し、さらにインターネットに繋がることによって大きな変化が起こると考えられます。中島氏は携帯電話の発展と変化を引き合いに出し、「今の段階は、ケータイでいうと



# Subscription

ご購読のお申し込み

本用紙送付先

FAX : 050-3737-6662

mail : info@j-np.com

## 1. お申し込みの購読期間に○をつけて下さい。

お申し込みプラン名	料金(1冊)	6冊契約	12冊契約
月刊誌『LIGARE』 (モビリティサービスに特化した専門誌)	¥1,800(税別)	¥11,664(税込) (1,800円/1冊)	2冊分無料 ¥19,440(税込) (1,500円/1冊)

※ご契約は契約期間ごとの自動更新となります。解約をされる場合は1ヶ月前まで、ご連絡をお願いいたします。

※発売は約2か月ごとに行う予定です。

### 上記プランのサービス内容

◇自動車新聞社が発行する自動車ビジネス誌『LIGARE』を毎号お届け。(発行日、発送日は暦により変更の可能性があります)  
注目されているモビリティサービスなどの情報をわかりやすく紹介し、読者の皆様のビジネスに役立ちます。

## 2. お支払い方法は「銀行振込」のみとなります。

口座名：株式会社 自動車新聞社  
三井住友銀行 神戸営業部 (普) 8376598

※恐れ入りますが、振込手数料はご負担願います。

## 3. 下記項目をご記入下さい。

※本申込書はご契約に関わります。全て正確にご記入の上、ご送付ください。		(記入日) 年 月 日
フリガナ	フリガナ	購読開始号
ご契約者名	ご紹介者名	vol. 号から
フリガナ	フリガナ	フリガナ
お勤め先	部署	役職

フリガナ

ご住所 〒 -

E-mail

TEL

( )

FAX

( )

フリガナ

ご送付先 〒 -

(ご住所と異なる場合)

お支払い先

三井住友銀行 神戸営業部 (普) 8376598

※入金確認後に発送いたします。振込手数料はご負担ください。

本用紙送付先

FAX : 050-3737-6662  
mail : info@j-np.com

<お問い合わせ> TEL : 078-891-7207 (株)自動車新聞社

# LIGARE

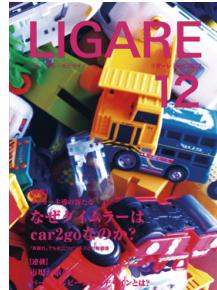
backnumber



vol.6 Oct. 2012  
ホンダの実証実験から見る  
FCVの水素ステーション普及への課題



vol.7 Nov. 2012  
欧州、超小型モビリティの動向  
日本で超小型EVは成功するのか?



vol.8 Dec. 2012  
なぜダイムラーはcar2goなのか?  
「クルマ離れ」でも成立するビジネスと価値観



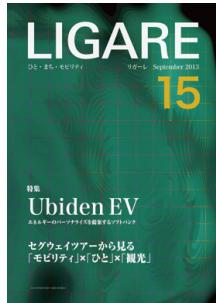
vol.12 April & May 2013  
モビリティサービスを始めたTOYOTA vol.1  
豊田市で始めた最初の交通システム「Hemo」



vol.13 June 2013  
モビリティサービスを始めたTOYOTA vol.2  
交通事業者に求められる変革



vol.14 July 2013  
岩手県が次世代モビリティ開発拠点を目指す  
スティグマを感じさせないデザイン



vol.15 September 2013  
Ubiden EV / セグウェイツアーカー  
セグウェイツアーカーから見る  
「モビリティ×「ひと」×「観光」」



vol.16 November 2013  
CEATEC JAPAN 2013 / モビリティ×ICT  
日産「チョイモビ」スタート



vol.17 2014  
TOYOTAが考えるスマートモビリティ社会  
トヨタプロジェクト  
Intel TIZEN IVIがモビリティを変える



vol.18 2014  
歩くまち、京都で交通ビジネスモデルの変革  
IBMスマートカーネーション  
横浜スマートセルで公開実証実験  
EV充電駅「新・施設タイプ」



vol.19 2014  
MIT、移動の質の向上がQOL向上につながる  
宮古島のエネルギーとモビリティ



vol.20 2014  
TOYOTA HackCars Days 2014 in Tokyo  
Continental 自動運転の実用化に向けて



vol.21 2015  
HERE HD Map & HERE Auto SDK  
BOSCHが考えるコネクティッドライフ



vol.22 2015  
NVIDIAは自動車の開発をどう考えていくのか?  
DENSOマイクログリッドの展望

2015年9月31日(予定)

# LIGARE

リガーレ vol.24 2015

次号予定 - NEXT ISSUE

## トヨタが考える東京のモビリティ社会 (仮)

発行人 井上 清隆 編集長 井上 佳三 監修 八重樫 文 編集スタッフ 佐々木 寛子／橋本 雅嗣／服部 高久／入佐 真史／木村 一樹／大洞 静枝 アドバイザー 清 雅人  
アートディレクター 安田 至宏 デザイナー 遠藤 りら カバーアート 鈴木 グラ Publisher Kiyotaka Inoue / Editor in Chief Keizo Inoue / Supervisor Kazaru  
Yaegashi / Editorial Staff Hiroko Sasaki, Masatsugu Hashimoto, Takahisa Hattori, Masashi Irisa, Kazuki Kimura, Shizue Obora / Adviser Masato Sumi  
/ Art Director Yoshihiro Yasuda / Designer Rira Endo / Cover Art Gura Suzuki  
Supported by ヒュウゴベンダコウギョウ, パソナソーシャルソリューションカンパニー